

(4)経費計算(費目別計算)

- ①経費を支払う(外部から「経費」「購入」)
- ②仕入情報や外注受入実績情報より、**製品の**生産実績毎の直接経費を製造に払出す(「経費」「購入」から「仕掛」「投入」)
- ③間接作業分を「製造間接費」BOXへ付替える(「経費」「消費」から「製造間接費」「間接費分の振替」)
- ④その他の経費振替(「経費」「消費」から「損益」「売上原価」)
- ⑤原価差異が分かる(「経費」「原価差異」から「損益」「売上原価」)

※以下は部門別計算・製品別計算ですが、経費関連なのでここで記しておきます。

- ⑥他の費用と併せて間接費を纏める
- ⑦製造間接費の**製造部門へ**纏める(一次配賦)
(「製造間接費」「間接費分の振替」内で配賦計算)
- ⑧製造間接費を製造の**製品へ**配賦する(二次配賦)
(「製造間接費」「消費」から「仕掛」「投入」)

以上が経費の費目別算です。

①の“単価”“数量”“金額”のデータと②～④の“数量”データは基本生産管理等の基幹システムから入手します。

これに原価計算を施して「出庫」側の“**実際経費レート**”(＝原価単価)を計算するのが経費計算です。

②製品への振替単価は“**標準単価**”で行われます(標準原価計算モード)。

この時計算された“**実際レート**”と“**標準レート**”の差が⑤「**原価差異**」データとして作られます(**単価差異**)。

③「**製造間接費**」は、品番あるいは製番指定のない経費全額が振替金額となります。

④その他労務費振替も③と同様に実際単価により売上原価に振替えられます。

